

ゴリラ, *Gorilla g. gorilla*, の繁殖と人工哺育 第2報 生後5カ月から2才まで (1972-11-29受)

京都市動物園 猪飼翌夫, 津田吉蔵, 高橋鉄雄, 安井圀彦, 滝沢晃夫

THE BREEDING AND HAND REARING OF GORILLA AT KYOTO ZOO

II. From 5 Months to 2 Years after Birth

Akio Ikai, Kichizo Tsuda, Tetsuo Takahashi, Kunihiro Yasui & Akio Takizawa, Kyoto Zoo

1. はじめに

1970年10月29日に生まれたローランドゴリラの♂(マック)の发育経過については、動水誌. Vol. X Ⅲ, No. 2 に出生後4カ月までを報告したが、今回はその第2報として、出生後2年までの経過について報告し、この経過報告を終わります。

2. 哺育状況

第1報の第2表「週令毎の1日平均摂取量及び平均摂取カロリー」について、それに引続く生後6カ月(第26週)までの分は、第6表のとおりである。



写真4 生後約7カ月のマック

第6表 週令毎の1日平均摂取量及び平均摂取カロリー (第1報第2表に続く)

週令	吸乳量 cc	粉乳摂取量 g	果実その他				摂取カロリー cal.
			リンゴ汁 cc	バナナ g	ミカン汁 cc	ライス フレーク g	
18	440	66	79	28	83		413
19	430	64	148	33	73		425
20	440	66	120	23	66	5	430
21	400	72	72	35	107	5	463
22	440	80	75	50	97	5	501
23	440	80	62	31	92	5	487
24	410	75	96	50	98	5	498
25	443	85	134	61	78	5	563
26	460	90	171	67	58	5	600

生後6カ月(182日)における給餌回数は1日4回で、その献立は次のようなものであった。

8:00 スプーン(小)2杯のライスフレークを温湯40ccに溶き、ミカンのしぼり汁50ccを加えて与える。

11:30 ミルク230cc(45gの調製粉乳を湯にとかし、全量を230ccとしたもの)を授乳。

17:00 リンゴのしぼり汁130cc、ミカンのしぼり汁50ccに、うらごしバナナ70gを加えて食べ易くしたものを与える。

22:00 ミルク230cc授乳。

給餌回数を1回減らし、1日3回にしたのは生後237日で、その給餌時間は、8時と19時30分とにミルク260cc宛授乳し、その中間の14時30分に、リンゴ180gバナナ90gをすりおろして与えている。

夜間の授乳を17時に繰上げたのは、308日目の1971年9月1日であった。

1971年10月29日、満1年のメニューは

8:00 ミルク350cc(調製粉乳70gを湯にとかし、全量を350ccとしたもの)とブドウ50g。

13:30 ブドウ150g。

17:00 ミルク350cc。

の3回となっている。

生後1年6カ月では、給餌回数が再び4回となり、8時と17時とにミルクを450cc(調製粉乳100gをとかし、全量を450ccとしたもの)ずつを与えている。中間の11時30分と16時30分には、バナナ150g、ナツミカン1個半の他、リンゴ、人参、パンなどを与えたが、1972年1月19日到着したガールフレンド(ミッチー)と同居するようになっていたので、これらの一頭当りの摂取量は判然としない。

生後2年を迎えた1972年10月29日の誕生日には、8時と17時にミルクを560cc(調製粉乳130gをとかして560

ccとしたもの)宛授乳し、11時にはバナナ1本半、ミカン2個、ユデタマゴ2個の他、人参、生甘藷、パン、白菜などを少量与え、15時30分には、ミカン3個、バナナ1本を与えているが、ミルクを除くこれらの果物などは、何れもミッチーとの2頭分である。

3. 発 育 経 過

第1報における発育経過と一部重複するが、パーゼル動物園のジャンボ(♂)とアメリカ・シンシナチ動物園のサム(♂)及びサマンサ(♀)とを比較したのが第7表である。

第7表 体 重 の 比 較 (gr.)

月令	MAKK ♂	JAMBO ♂	SAM ♂	SAMANTHA ♀
出生時	2370		32時間後 2127	2240
1	3170		-2 3438	-2 2977
2	4200	+19 2700		
3	4700	-2 3150	+1 4820	+1 3998
4	5320	+2 3400	-8 5132	-8 4303
5	+5 6000			
6	6450	+5 3900		
7	7100	+3 4100		
8	7500	-3 4900		
9	7700	5400		
10	8200			
11	8600			
12	9000	+5 7100		
18	12500	+4 10600		
24	17300	-1 14850		

+-の数字は計量時における月令の日数の過不足

体重が出生時の3倍(7.1kg)に達したのは、生後214日であり、4倍(9.4kg)になったのは1年を過ぎること15日目だった。同様に5倍(11.8kg)には511日目で約

1年5カ月、2才の誕生日には約7.3倍となっている。

4. 歯 の 発 生

歯の発生状況を模式図で表わしたのが第2図である。

5. 成長の経過から

生後137日：ココココとかすかに笑っているような声を出し、また、ヒーとひと声発声。首の周囲をくすぐると同じような声を出した。

生後155日：午前11時30分、哺育箱のふちを支えにして立ちながらミルクを飲む。

生後163日：はじめてさかさまにぶら下る。

生後166日：哺育箱から室内哺育檻に移したところ、5・6分の間鳴きわめいていたが、まもなくあきらめて眠ってしまった。屋外に出すと怖がって必らず糞をする。

生後178日：午後5時、果汁を与える時に落着かなく、アッアッと声を出しながら、10回位担当者に咬みついた。原因不明。

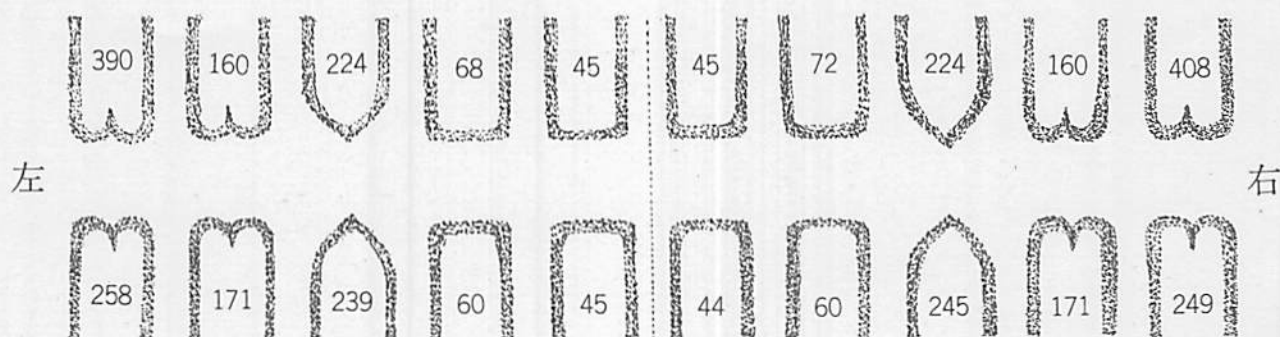
生後181日：右手で檻の鉄棒をつかんで立ち上がり、左手でピタピタと胸をたたきながら、気嫌よくココココという笑い声を出す。

生後188日：毛布に対する依存性を徐々にとり除く必要があり、与えていた毛布を切って小さくする。仰臥位になって足の裏を手でたたく。給餌の時に遊ぶことを覚えて、果汁やミルクを中々飲もうとせず、担当者を困らせた。

生後205日：左側鼻涙管閉塞のため、眼科医の往診を依頼し、ケタラール40mgを筋注して全身麻酔の後、涙嚢に貯溜した粘稠液を排出させてから涙管用鈍針を通す。麻酔は約1時間後に覚醒したが、施療中仰臥位で処置したため、ケタラールによる分泌亢進によって、一時窒息状態となった。

生後206日：両手を握ったまま、運動場の床の上を滑らせながら走る。

生後218日：両手の指の第2関節面を床につけ、四つん這いになるが、そのままの姿では歩けない。



第2図 歯 の 発 生 状 況

(数字は発生時の日令)

生後240日：原因不明の発熱があり、クロマイ筋注用0.25gを筋注、以後3日間、クロマイパルミテート（実量250mg）を投薬したところ下熱。

生後250日：ナツミカンを好んで食べるようになる。

生後280日：4・5秒間じっと立っていた。ホースから出る水を怖がらずに触るようになった。ブドウを食べさせてみたところ、最初吐き出したが、その後は続けて7・8粒食べた。

生後294日：室内から屋外運動場に出るのを怖がらなくなり、一日中運動場で過すようになった。

生後308日：タライに張った水に口をつけて飲んだ。

生後318日：支えなしに後肢で立ったままよく歩いた。

生後320日：糞を食べているところを発見した。

生後360日：両手を合せて拍手、パチパチと音を立てた。

生後404日：運動場のつり輪にぶら下がったり、両足で立ち上り、拍手してパンパンと音を出す。

生後434日：高さ約40cmの台からとび降りた。

生後473日：左側鼻涙管閉塞について、再び眼科医の診察を受けたが、どうも打つ手がないらしい。

生後546日：ガールフレンドのミッチーと午前中同居させたが、体力的に優れているマックは、ミッチーを転がしてまるで玩具のような扱いをするので、同居のまま放置出来ない。

生後565日：マックとミッチーはお互いに良く馴れ、よく抱き合うようになった。

生後633日：まるでお守りでもあるかのように大事にしていた毛布の切れ端だったが、昼の間はそれが無くとも安心して遊ぶようになった。

6. お わ り に

生後5カ月から2年までの経過について述べたが、発育経過は極めて順調であるものの、唯一つの気掛りは、左側鼻涙管閉塞の治療方法である。現在、涙嚢に貯溜した涙液を1日数回、指で押し出して排除しているが、発育と共にこの方法にも限界があり、涙管ブジーによる鼻涙管拡張に失敗しているので、何らかの方法で涙液の流出路を作ってやる必要に迫られている。

マックの父親の死後、当園のゴリラの繁殖は望めなくなったため、母親は本年（1972）5月22日以来、上野動物園に預って頂き、現在に至っている。

この試みは、上野動物園の浅野三義園長をはじめ、中川志郎飼育課長、飼育担当の山崎太三氏等、関係者諸氏の御援助と御好意によって進行中であることを報告し、吉報の報告出来る日を期待しつつ、この稿を終るに当り心から謝意を表します。



写真5 生後約1年2カ月



写真6 生後2才のマック